

進路だより

発行：平成27年10月26日

1 スコア手帳について

中等教育学校後期課程が発足後、連絡帳に変わる手帳として、スコア手帳を使用しています。7月に成長実感アンケートを実施しました。全国集計結果も含めてお知らせします。

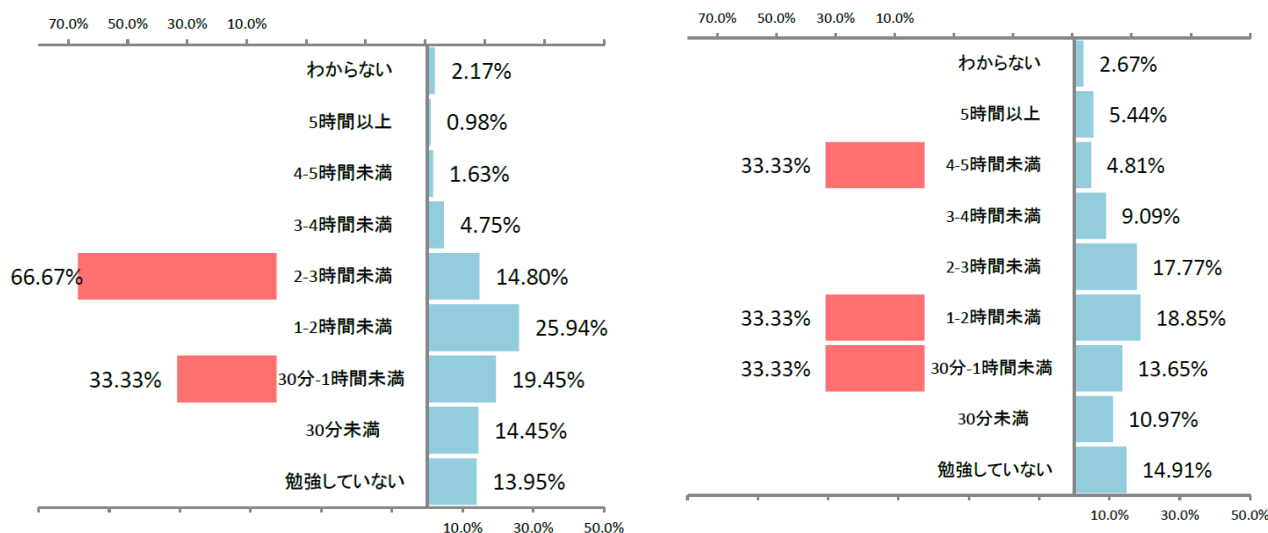
このスコア手帳の導入には、次のような3つの重要な目的があります。

- (1) 計画を立てて学習に取り組むこと。
- (2) 学習しないといけない項目を整理すること。
- (3) 学習を記録すること。

これらをスムーズに実行するために、スコア手帳は導入されています。

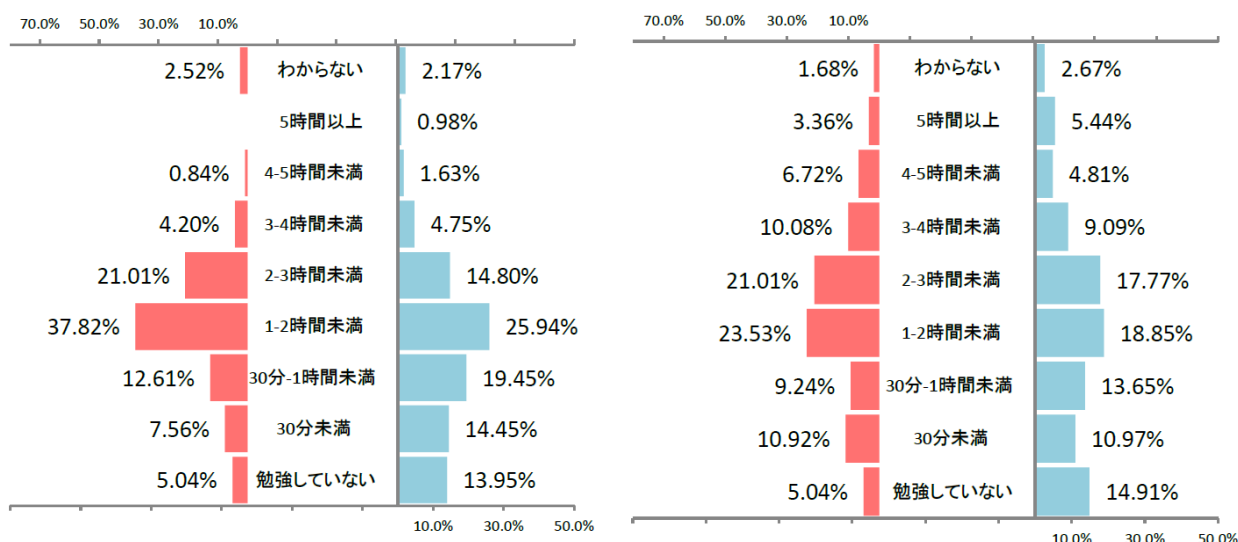
①学習時間について（4学年）※(左が本校, 右が全国平均)

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？ Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？



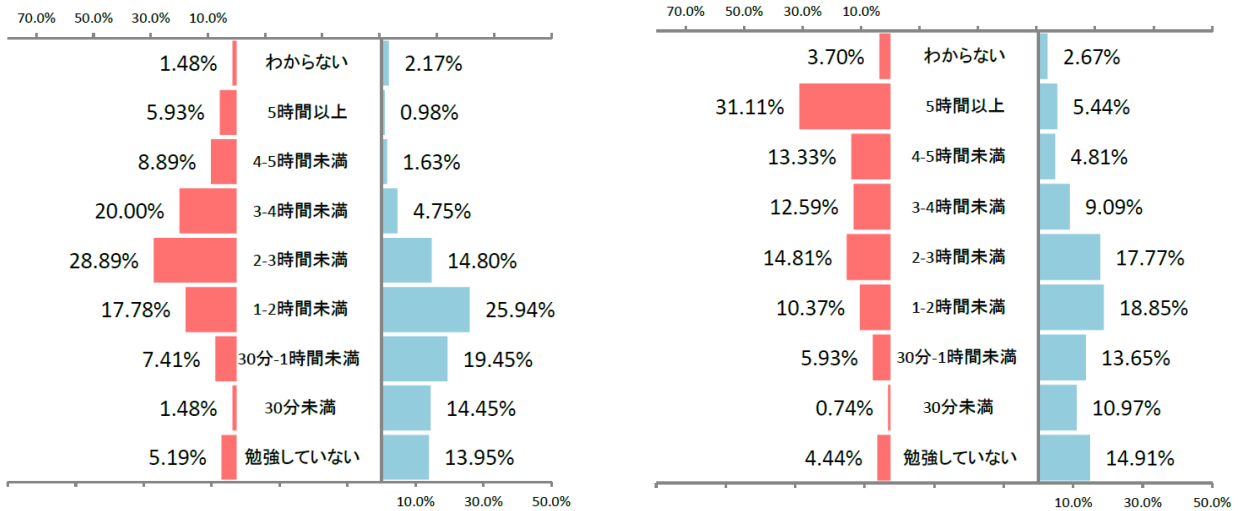
②学習時間について（5学年）※(左が本校, 右が全国平均)

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？ Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？



③学習時間について（6学年）※(左が本校、右が全国平均)

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？ Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？



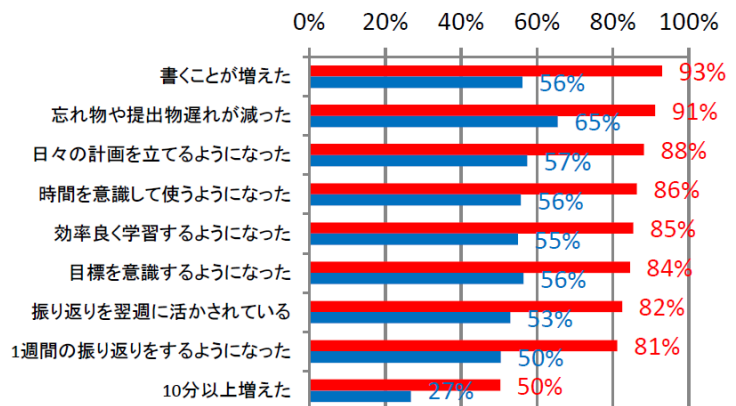
①, ②, ③の結果から、6学年になると日々の学習時間をしっかり取れている様子が分かります。休日5時間以上の生徒が3分の1を超えています。さらに、平日5時間以上学習時間を確保できている生徒もいます。この努力は確実に進路実現につながります。ただし、休日5時間以上の生徒は昨年度50%を超えていました。進路実現も5分の3にならないことを祈っています。一方、6学年になって慌てて学習時間のみ増やしても、学習の質は高まりません。4学年、5学年のうちから、まずは、学習習慣をつけ、そして徐々に学習の質を高めることが大切です。早いうちから学習習慣のついた生徒と、慌てて学習時間を増やした生徒では、同じ1時間の学習でもその1時間で行った学習の量と学力として身についた知識の量に大きく差が出ます。自分で記録をとり、自分で自分を律し、はやく学習面での自立をむかえましょう。
 ※4学年はアンケート提出数が少なく、上記のような結果になっています。次年度は積極的なご協力よろしくお願いします。

④ 手帳に記録すること

すでに多くのメディアに取り上げられています。手書きで記録することが、様々な点で効率を上げます。次のグラフは、手帳を使用している生徒とあまりしていない生徒の比較です。できる生徒は手書き記録の時代です。朝と帰りのSHR以外にも普段から手帳を開く癖をつけましょう。

※上段が1日に手帳を3回以上開く生徒、下段が1日に手帳を2回以下しか開かない生徒。

1日にスコラを開く回数が
 ■3回以上の生徒 と
 ■2回以下の生徒 の比較



2 手帳甲子園について

スコラ手帳を活用している生徒は、手帳甲子園に応募できます。平成27年10月31日(土)までに、個人部門の手帳活用術か表紙デザインで応募してください。詳細は下記のアドレスを参考にしてください。個人部門は自分独自の使い方やルール、継続的に手帳を使う工夫などの活用度や基本的な活用方法にとらわれることなく、自由な発想で活用しているかなどの独創性が審査されます。学校から応募しますので、応募を検討している生徒は、学年の進路指導係の先生に相談してください。

手帳甲子園のアドレス

http://www.noltyplanners.co.jp/scola/koushien_2015_entry.html